

**2026(令和8)年度
第63回 青葉区 冬季 少年少女 サッカー大会
運 営 要 項**

1. 主 催 青葉区サッカー協会

2. 後 援 青葉区役所・青葉区スポーツ協会・横浜あおばライオンズクラブ

3. 協 賛 東京体育用品 株式会社

4. 期 日 予選リーグ

☆Uー 8の部 2026年11月～2026年12月

☆Uー10の部 2026年11月～2026年12月

☆Uー12の部 2026年11月～2026年12月

決勝トーナメント

☆すべての部 2027年1月～2027年2月(優勝決定戦、3位決定戦の詳細日時及び場所未定)

5. 試合方法

- ① 試合はすべて8人制とする。
- ② 予選はブロック制とし、各ブロック内の総当りリーグ戦とする。(公式戦は1チームにつき、1日2試合までとする)
予選ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
- ③ 予選リーグの順位は勝点による。同点の場合は得失点差・総得点・直接対決・コイントスの順で決する。
勝ち点は3点、引分け1点、敗者0点とする。
不戦敗の場合の得失点差は5点、またはブロック内の最大得失点差と比べて、大きいほうを得失点差として採用とする。
- ④ 決勝トーナメントにおいて、試合結果が同点の場合は3人のPK戦とする。3人で決しない場合はVゴール方式とする。
優勝決定戦のみ、延長戦を行うものとし、それでもなお決しない場合は上記と同様にPK戦によって勝者を決める。
- ⑤ 試合時間は以下とする。
Uー 8の部 20分(決勝戦の延長戦は3分・3分)
Uー10の部 30分(決勝戦の延長戦は5分・5分)
Uー12の部 40分(決勝戦の延長戦は7分・7分)
※飲水タイム・クーリングブレイク等は試合環境に応じて本部で設定すること
- ⑥ 各試合ともエントリー選手をメンバー表に記入(最大20名)の上、試合開始30分前までに大会本部へ提出のこと。
試合開始の10分前までに必ず所定の場所に集合し、当該試合への出場エントリー選手全員がチェックを受けること。
20名以上の場合、エントリー外の選手もベンチに入るとは認めるが、エントリー外と判るようにする事。
試合前にメンバーチェックを受けていない選手は、当該試合への出場は認めない。
(試合終了後、メンバーチェックを受けていない選手が出場したことが判明した場合は、当該チームを不戦敗扱いとする)
- ⑦ エントリーされた交代要員は全員が交代することができ、交代して退いた競技者の再交代を認める。
- ⑧ 交代は自由交代とする。但し、キーパーはアウトオブプレー時に主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。
- ⑨ 試合は6人以上で成立とする。対戦チームが8人に満たない場合、自チームの人数を少ない方に合わせることを強制しない。
- ⑩ イエローカード・レッドカードの扱いは以下とする。
予選リーグ・決勝トーナメント共にイエローカード累積3枚もしくはレッドカード1枚で
次の1試合を出場停止処分とする。なお、予選リーグのカードは決勝トーナメントには持ち越さない。

6. 登 録 等

- ① 参加者(審判も含む)は必ずスポーツ保険等に加入していること。
また大会中の事故や怪我等の責任の一切はそれぞれの参加チームが負うものとする。
- ② 選手の二つ以上のチームにまたがる二重登録は一切認めない。
- ③ 追加登録は随時可能とする。参加申込書に追加選手を記入し試合当日、本部へ紙で提出のこと。
メンバー表には追加登録選手であることを明記すること。
試合当日の段階で参加申込書に記載のない選手の出場は一切認めない。
(メンバー欄に一行開けて【追加】と記入しその下に、追加選手名を記入のこと)。
- ④ クラブを移籍した選手は、移籍したクラブでの参加を認める。
抽選会後に、選手の同一クラブ内のチーム間の移動は認めない。
- ⑤ 各カテゴリー共3名までの繰り上がり登録を認める。
- ⑥ 1チームは8名以上で登録のこと。

7. 用 具 等

- ① ポイント取替え式のシューズは認めない。
スパイク、トレーニングシューズなどは破れてないこと。テープでの補修は認めない。
- ② 眼鏡を着用しての競技は一切禁止する(但し、スポーツゴーグルを着用しての競技は認める)。
- ③ すね当ては必ず装着のこと。
- ④ 同一チーム内では同一のユニフォームを着用するものとし、二種類以上を用意すること。(FP,GK共に)
- ⑤ アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツは何色でもよいが、チーム内で同色とすること。
- ⑥ ソックスに貼りつけるテープやその他の材質のモノの色はソックスと同色でなくてもよい。
- ⑦ キーパーのユニフォームについて以下のようにローカルルールとする。
★ショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同じものを着用可とする。
★シャツはセカンドユニフォーム(またはファーストユニフォーム)でも可とする。
* フィールドプレイヤーと識別できること。**ピブスは状況に応じて利用可とする、ただし、主審の許可を得ること。**
- ⑧ ツバのやわらかい帽子、日よけのついた帽子は着用可とする。つばの硬い帽子は着用不可。
※球技用ヘッドギアの使用は認める
- ⑨ 手袋は着用可(審判も着用可)

- ⑩ 競技者に危害を及ぼすと考えられる装飾品等、ネックウォーマーなどを身に付けてのプレーは禁止する。
爪が伸びている選手の出場は認めない。目安は、手のひらを上に向けた状態で、爪の先が見えないこと。
※GKのユニフォームの着回しは、負傷して交代した時のみOKとする。

8. 審判等

- ① 審判は上下とも黒の審判服を着用すること。アンダーウェア等の防寒着の着用は認めるが、審判服と同色とすること。
これに反した場合は本部で審判を代行し、当該チームにはペナルティを科すものとする。
- ② 審判団は必ず試合開始10分前に集合し、第四審判を交えて打合せを行い、試合後にも同様の形で反省会を実施のこと。
- ③ ルールは、日本サッカー協会のルールを準用する。
- ④ 審判(第四審判含む)は本部に審判証を提示のこと(電子可)。
審判は各クラブの責任において派遣すること。
- ⑤ 副審のフラッグは各チームで持参のこと。
- ⑥ 第四審判も審判服着用とし、各チーム審判を2名帯同する。(幹事が第四審判に対応する事も可能)

9. 表彰 各部の優勝・準優勝・3位・4位のチームに賞状等を授与する。
各チームより選出されたMVP選手 1名にメダルを授与する。

10. その他

- ① 試合球は全カテゴリーにおいて4号検定・アセンティックボールまたは手縫いとする。
※ 空気圧 アセンティックボール800～900hpa、手縫い650～800hpaを目安とする。
- ② ベンチに入れるチームスタッフの人員は発声によるコーチングができる1名を含む3名とする。
※ スタッフに対するイエローカード、レッドカードの取り扱いは選手に準ずる。
- ③ 試合日程が市大会・県大会と重なった場合は速やかに幹事と**事務局**にその旨を連絡し、本部の指示に従うものとする。
学校行事・インフルエンザ・新型コロナ等による試合参加に関する事態についても、同様とする。
- ④ 雨天等による大会の中止決定と連絡は第一試合の開始2時間前までに、幹事チーム責任者が行う。
- ⑤ 会場の清掃は全チームで行い、ゴミは各チームで持ち帰ること。
- ⑥ グランドの設営・整備については幹事チームの指示に従うこと。
ペナルティーエリア、ゴールエリアのサイズは変更しないこと。【ピッチサイズ参照のこと】
- ⑦ 会場への車の乗り込み、及び会場周辺での駐停車については、幹事チームの指示を厳守のこと。どこのチームの車なのか分かるようにする事
【有観客の場合】特にあとから応援に来る車の単独行動は絶対に行わないこと。
以上に従わないチームは、次大会の応援参加を認めない等のペナルティを科すものとする。
- ⑧ 【有観客の場合】ピッチ保護のため靴跡、轍をつけないよう、ヒール、ベビーカーでの会場入場を禁止とする
※ベビーカー等を使用する場合は、幹事チームの指示を厳守のこと。
- ⑨ 決勝トーナメントに参加するチームからは別途参加費を2,000円徴収する。
- ⑩ 第一試合のチームは準備、最後のチームは後片付けを行うこと。
※他参加チームも密になることを避けながら、会場設営にはご協力下さい。
- ⑪ 試合中の飲水は主審判断とする。飲水時間は試合時間に含まれるとし時計は止めない。
飲水中の監督、コーチからの指示は禁止とする。熱中症警戒アラートが出ている場合は飲水タイム・クーリングブレイクも採用する。
- ⑫ 撮影した写真、動画はチーム内部の展開のみとすること。チームの公式SNSなどに掲載する場合は対戦相手の許可を試合前に取る事。
チーム関係者、保護者等の個人アカウント(Facebook, Instagram, Youtube, TikTok等のSNS)を利用したSNS掲載は禁止します。
※別途個人情報の同意書、映像撮影の同意書を確認の上、事務局に提出してください
- ⑬ 試合会場では本部に同席する運営委員に相談し指示に従うこと。
- ⑭ 試合会場への入場時間は各会場のルールに従うこと。その他不明なことは、自クラブの運営委員に相談し指示に従うこと。
- ⑮ 大会会場施設・設備等に破損等が生じた場合は、破損等起こした当該チームにて責任を以て原状復帰対応を実施すること。

以上